



50th



三ツ境通信

(みつきょう つうしん)

令和3年度 校長室だより

第7号 R3. 11. 22

創立 50 周年行事の取組み

11 月 15 日から「50 周年キャンペーン期間」が始まりました。学部や学年で 50 年間の学校の歩みを学ぶ授業が展開されています。また給食では児童生徒のリクエスト、各年代の給食をメニューに盛り込み、50 周年記念スペシャル週間が実施されます。各年代の給食レプリカも展示中で、授業と連動して活用されています。展示を見ながら世代を超えた会話が弾んでいます。

10 月の校内実習では、高等部生徒が記念グッズを作成しました。ファイル、キーホルダーなど 50 周年記念キャラクターを使った製品をひとつひとつ丁寧に作りました。また学校の沿革や校歌を載せた 50 周年記念新聞の印刷や折り込みは高等部作業班の生徒が行いました。

耐震化工事やコロナ禍の中、これまでを振り返り、今を未来に伝えていけるよう、児童生徒の活動を軸にして取り組んでいます。式典はありませんが、これまで学校を創り支えてくださっている多くの皆さまから、心のこもったあたたかいお祝いのメッセージをいただいています。創立 50 周年記念誌という形にして感謝の気持ちとともに残していきたいと思っています。

ホームページの「創立 50 周年記念ページ」も合わせてご覧ください。

修学旅行に行きました ～中学部・高A～

中学部は小田原方面、高Aは横浜方面へ日帰りの修学旅行に行きました。どちらの日も素晴らしい秋晴れの日で、友達や先生と楽しい時間を過ごして帰ってきました。写真を撮ったり、見学をしたり、車窓の景色を見たり、昼食をとったりして、思い出がまた一つ増えたことと思います。保護者の皆さまにはご理解ご協力をいただきありがとうございました。

さすが高校生！ ～高等部実習～

高等部では秋の実習がありました。肢体部門、知的部門、分教室と部門や場所は違っても、生徒たちはそれぞれの課題にしっかりと向き合い真剣に取り組んでいました。挨拶や報告を身に付けたり、集中して作業をしたりするなど、一人ひとりの目標に向かって頑張る様子は見ている私達も力をもらいます。

「働く」という字は「にんべん（人）」と「動く」から成り立っています。実習に取り組む生徒たちを見ていると、働くとは人が動くというだけではなく、人を動かす、人と動くなど、一人ひとりに応じたそれぞれの働き方があると教えられます。自立と社会参加を目指し、地域とともに力を合わせて引き続き指導支援の充実を図ってまいります。

瀬谷西高校との交流 ～分教室～

瀬谷西分教室も参加した「フラワーロードプロジェクト」はお天気に恵まれた秋の日に、校内校外を花でいっぱいにする企画でした。分教室に行くと、冷たい風にも負けず元気に咲くたくさんの花々が迎えてくれます。ホームページの「ちいきの中で」をぜひご覧ください。

また先日の檜祭（瀬谷西高校の文化祭）は外部公開をしない形で平日に開催されましたが、生徒たちは楽しそうな様子で、たくさんの笑顔が見られ嬉しかったです。分教室の作品展示教室に入ると柑橘の香りが漂っていて、爽やかでおしゃれなギャラリーのようでした。文化祭のオープニングで分教室の紹介をしたおかげか、展示室には多くの高校生や高校職員の方が立ち寄ってくださり、とてもいい交流ができました。

学校運営協議会

～11月書面開催～

第3回学校運営協議会を書面にて開催しました。今回は学校評価（中間評価）を中心に、各校務グループの取組や地域と連携した活動実績、現状や進捗状況についてご意見をいただきました。

コロナ禍での取組、ICT活用状況、教育課程改善、避難訓練等、様々な視点からいただいたコメントは私達の背中を押してくださる心強い応援のメッセージとなっています。交流活動など昨年度以来見合わせざるを得ないものも多くありますが、方法を工夫し情報発信を継続して、地域とともに歩む学校づくりへの思いを強くしています。なお開催結果はホームページにも掲載いたします。

ご協力ありがとうございます

～感染症対策と教育活動～

11月から高Bと分教室の登校時間が通常になりました。基本的な感染症対策を継続し、授業や行事では感染状況をふまえて検討した上で実施しています。11月には授業参観、校外行事などを実施することができました。

ご家庭での健康観察、体調不良時の対応など、いつもご協力をいただき感謝申し上げます。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

校長 片山 由美